



宝清寺

春彼岸会

三月十七日～三月二十三日まで

春の彼岸を目前にして、過ぎしやうすい季節の到来が待ち遠しいこの頃ですが、みなさまにはご健勝にてお過ごしのことと存じます。「たちばな」新聞の年頭の挨拶号でご案内させて頂いた、一月二十六日の娘婿川上匡彦上人の中山法華経寺の「荒行」行中見舞いに二十六名の方のご参加を戴きました。当日は天候にも恵まれ、帝国ホテルで昼食を済ませた後、荒行堂で、再行入行の川上匡彦上人の案内安全・身体健全・所願満足のご祈禱を受け、更に法華経寺ではお檀家でもある田中妙広様のご配慮により、鬼子母尊神のお開帳もして戴きました。

その後、柴又帝釈天に参拝、すばらしい彫刻を鑑賞し帰宅致しました。当日はお檀家の田村洋明様にマイクロバスを運転して戴きました。たが、運転がうまい事と道に詳しい事に参加者一同が驚いていました。又、当日は参加できないという事で、個人的にお見舞いに荒行堂まで行つて戴いた方も多くありました。そうした皆様のお気持ちに支えられ、本人は、二月十日無事に行程を終え、二月十二日に青森

鬼子母神。十羅刹女と日蓮聖人銅像。除け・交通安全・家内安全・身体健全・安産祈願・地鎮祭等の御祈禱に多くの人がお見えになります。それは、本堂に鬼子母神が祀られ、境内には厄除けの日蓮聖人の銅像が安置されているからです。鬼子母神の話は有名で巷に広く流布していますが、「雑宝蔵経」に記されている内容を紹介します。「鬼子母はもと邪神で、インドの王舎城の町に来ては幼児を奪いとって食い殺していた。人々はこれを憂いて釈尊に救いを求めたので、仏は人々の悲しみを憐れんで彼女の愛子寶伽羅（びんがら）と読み愛児と訳す）を鉢の底に隠してしまつた。

鬼子母は七日間世界中を探し求めたが見つからず、ついに仏のもとに来て子供の方を尋ねた。おまえは万子があるのだから一子を失つて憂悲苦悩している。ところが世間の人々は一子、或いは三子五子であるのに、しかもおまえはその子供を殺したのではないか、とその悪行を誡めた。鬼子母はやつと自らの悪事の罪をさとり寶伽羅が戻れば二度と人の子を殺さないと悔い、仏の弟子になった。（中略）そして邪神が仏によって善神となり人々から鬼子母神と崇められるようになったといふのです。古くインドではこの鬼子母神は子授け・子育ての神として盛んに祀られていたようです。インドのこの信仰は日本にも受け継がれ、平安時代には密教の隆盛と共に鬼子母神を本尊とする祈禱法が流行し人々の信仰を集めた。日蓮宗の修法は江戸の宗教統制下に宗門的要請としてまたたくまにその教義・行軌を確立した。そして、法華経で法華経の行者を擁護することを仏に誓つた鬼子母神が本宗祈禱の本尊として定められた。そしてその行像は「鬼形鬼子母神」といふ、他宗で見られない憤怒型の立像が安置されるようになった。そして日蓮聖人親刻とする総髪合

昔のインドには、土をこねて壇をつくり、そこに神仏を祭る「習慣」があつたといえます。一般には「土壇」と呼ばれているものです。中国に仏教が渡りその上に屋根をつくるようになり、人々の仏道修行の場となりました。これが寺院のはじまりともいわれています。寺院の本堂には、必ず、一段高いところに御本尊が安置されています。この位置は「須弥山」をかたちどつたもので「須弥壇」と呼びます。「仏壇」も、この

「須弥山」を象徴してつくられた「仏壇」は、寺院を簡素化したもの、すなわち、小さな寺院といえるわけです。こうしてみると、ヨーロッパ人がいう「日本人は信仰心がうすい」という指摘は疑問です。なにしろ、日本人は多くの家庭に、寺院をもっているのですから、すばらしいことだと思えます。次回には、「仏壇のまつり方」について、（仏壇は心静かに礼拝できる場所に）と題して、仏壇を安置する場所について解説します。

鬼子母神を本尊とする中山流の祈禱が一世を風靡するに及びこの像が一般的となつた。これに対してもとからの天女像も作られた。本宗では鬼形像は破邪調伏、天女像は安産子育てと分けている。当山にはその両鬼子母神の他に、鬼子母神の夫と十人の子供である十羅刹女が一つの舎に安置された全国でも珍しい鬼子母神が守護神として祀られ、檀信徒の皆様をお守りしています。

「須弥山」とは、仏教の理想としてある世界のことです。したがって、「仏壇」は、寺院を簡素化したもの、すなわち、小さな寺院といえるわけです。こうしてみると、ヨーロッパ人がいう「日本人は信仰心がうすい」という指摘は疑問です。なにしろ、日本人は多くの家庭に、寺院をもっているのですから、すばらしいことだと思えます。次回には、「仏壇のまつり方」について、（仏壇は心静かに礼拝できる場所に）と題して、仏壇を安置する場所について解説します。

鬼子母神を本尊とする中山流の祈禱が一世を風靡するに及びこの像が一般的となつた。これに対してもとからの天女像も作られた。本宗では鬼形像は破邪調伏、天女像は安産子育てと分けている。当山にはその両鬼子母神の他に、鬼子母神の夫と十人の子供である十羅刹女が一つの舎に安置された全国でも珍しい鬼子母神が守護神として祀られ、檀信徒の皆様をお守りしています。

鬼子母神を本尊とする中山流の祈禱が一世を風靡するに及びこの像が一般的となつた。これに対してもとからの天女像も作られた。本宗では鬼形像は破邪調伏、天女像は安産子育てと分けている。当山にはその両鬼子母神の他に、鬼子母神の夫と十人の子供である十羅刹女が一つの舎に安置された全国でも珍しい鬼子母神が守護神として祀られ、檀信徒の皆様をお守りしています。